

コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2021年4月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2021年3月31日時点

基準価額

16,186 円

(前月末比)

△267 円 (△1.62%)

純資産総額

9.6 億円

(前月末比)

△0.1 億円 (△0.92%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△1.62%
3ヵ月	7.31%
6ヵ月	22.90%
1年	38.88%
3年	18.52%
5年	71.57%
10年	-
設定来	61.86%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	0円
2020年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	91.2
静岡銀行株式	7.9
現金等・その他	0.9
構成銘柄数	32社

※2021年4月30日時点



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	20.5%
化学	14.5%
電気機器	13.3%
サービス業	10.1%
輸送用機器	7.1%
卸売業	6.0%
情報・通信業	4.0%
陸運業	3.8%
金属製品	3.5%
建設業	3.2%
食料品	3.2%
小売業	2.9%
医薬品	2.9%
繊維製品	1.8%
その他	3.3%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	16.3%
ウェルネス	13.5%
精密テクノロジー	13.4%
新素材	11.1%
快適空間	10.1%
資源・エネルギー	9.2%
地球開発	7.3%
未来移動体	7.1%
ライフサイクル	5.7%
社会インフラ	3.2%
その他	3.3%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	4.0%
2 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	3.8%
3 クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.7%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.6%
5 ホンダ	未来移動体	夢と技術で、難局をチャンスに変える	3.6%
6 コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.6%
7 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.6%
8 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%
9 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.5%
10 リンナイ	快適空間	「熱」を通じて「快適な暮らし」を提供	3.5%

※2021年4月30日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

4月のファンドの月間リターンは▲1.62%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ (コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

4月の内外株式市場は、欧米の主要株価指数が高値を更新するなど堅調でした。特に米国では、金利上昇懸念が弱まりNYダウ、S&P500、ナスダックともに史上最高値を更新し世界の株式市場をリードしました。一方で、インドや中南米でのコロナ感染者数の急増は株式市場にも警戒感をもたらしています。

国内株式市場は、月初に日経平均株価で3万円台を回復する場面もありましたが、緊急事態宣言の再発令や企業の保守的な今期業績見通しなどから欧米の株式市場に比べて軟調な展開となりました。

当マザーファンドも月初に先月に続き運用開始以来の最高値を更新しましたが、月間では▲1.32%の下落、投資先31銘柄中13銘柄が値上がり、18銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲2.84%、日経平均株価は▲1.25%の下落でした。

株式組入比率は、96.7%と、前月比では▲2.0%の低下となりました。個別銘柄の月間騰落率では日立製作所が+7.53%の上昇、資生堂、楽天G、セブン&アイHD（上昇率順）の4銘柄が5%を超える上昇となりました。上場来高値を更新した銘柄も信越化学、クボタ、東京エレクトロン、KADOKAWA（銘柄コード順）の4銘柄となっています。

3月決算企業の通期での決算発表が続いていますが、コロナ禍での一年間の企業努力が感じられます。危機時にさらに筋肉質になった投資先企業に今後も大いに期待しています。

引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

◎ (6501) 日立製作所

4月は日立製作所の株価が7.53%上昇しました。

4月28日に2021年3月期の決算を発表し、実績の調整後営業利益は4952億円で前回見通しの4200億円を大きく上回ったことなどが好感されました。

2021年3月期業績の実績は、主に新型コロナウイルスの影響などで、前期比で減収減益となりましたが、全社の業績を牽引したITセグメントは過去最高益となりました。また、**事業ポートフォリオの変革が進む中、上場子会社である日立化成の売却益や、画像診断機器事業の事業譲渡益などにより、当期利益は過去最高を更新しました。**

日立製作所では、上記の事業再編に加えてグループ全体の事業ポートフォリオの“選択”と“集中”を更に進めています。決算発表に合わせて、上場子会社である日立金属の売却について発表していることに加えて、昨年度からはスイスABB社から事業買収したパワーグリッド（電力送配電）事業が連結に加わり、ホンダ系自動車部品3社を統合した自動車事業の日立Astemo社を1月1日に設立。また、3月31日には米国のデジタルエンジニアリング企業であるグローバルロジック社を約1兆円で買収すると発表しています。

事業ポートフォリオの変革が続く中、IoTプラットフォーム「LUMADA」を軸に、中期的な目標である調整後営業利益率10%超を目指し、グローバルでの存在感が高まっていくことに期待しています。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (4911) 資生堂

資生堂は4月28日、Dolce & Gabbana（ドルチェ&ガッバーナ）社と締結していたグローバルライセンス契約の一部を解消し、フランスを除くすべての市場における本ライセンス契約に関する事業展開を2021年末で終了することを発表しました（フランスにおける事業活動にかかる本ライセンス契約の解消も、労使協議を経た上で決定する予定）。

Dolce & Gabbana社とのライセンス契約は、新型コロナウイルスによる社会変容の影響を強く受けるフレグランスやメイクアップが中心であり、また、かねてより収益性の低さも課題でした。

資生堂は中長期戦略「WIN 2023 and Beyond」において、事業ポートフォリオの再構築や、米州・欧州事業における収益性改善のための施策をすすめており、2021年度中に非中核事業の売却・撤退に目処をつける方針を示していたことから、この判断はある程度は予見していたことではあるものの、**実際に強い意志をもって構造改革を断行していることが確認できた**という意味でポジティブに捉えています。

アナリスト 原嶋 亮介

◎ (6326) クボタ

クボタは、今年2月に**長期ビジョン「GMB 2030」**を策定しました。**豊かな社会と自然の循環にコミットする“命を支えるプラットフォーマー”**を目指して事業展開を進めています。長期ビジョンに向けた動きとして注目されるのが、最近、積極化しているスタートアップ企業などとの提携です。

クボタは農業機械メーカーで、現在の主力業務は、稲作用の領域ですが、農業機械の市場は同社があまり手がけていない穀物や野菜・果樹の領域にも大きな市場が広がっています。

また、農業全体をとらえると、世界的に担い手が減っていき、ドローンによる作物の画像認識を含むスマート農業といった、より効率的な農業も求められています。クボタは、スタートアップや異業種を含めた企業に出資する形で、種々のビジネスパートナーとエコシステムを構築し、その中心にクボタが立ち、命を支えるプラットフォーマーとしてトータルソリューションを提供する会社になっていく将来像を描いています。その通過点として、2025年12月期の業績目標を、売上高2兆3000億円、営業利益3000億円としております。

シニア・アナリスト 上野 武昭



【こどもトラストセミナーおかねの教室「投資を探求せよ」】

4月28日、こどもトラストセミナーおかねの教室「投資を探求せよ」を開催し、小学4年生から6年生までのこどもたちが参加してくれました。
テーマは「投資を探求せよ」です。

最初はアイスブレイクとして、「お金もちになりたい？」を聞いていきます。

当然、「なりたい！」の声。

では、「どうしたらお金もちになれると思う？」と聞きます。

すると、、、「その時代に合った商売をする」や「稼いだお金をどんどん貯めていく」という答えが返ってきます。

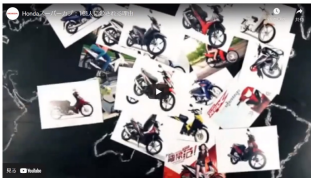
続いて、「じゃあ、みんなにとってこれがあってよかった！というものを一つだけ持ってきてください！」と聞きます。

すると、「パソコン」「メガネ」「ともだち」などなど、、、これは実はのちのち投資がどういう意味を持っているのか、につながる質問になるのです。

つまり、みんなが「これがあってよかった！」「こういうサービスがあってよかった！」と感じたとき、そのモノやサービスに対価としてお金を払うと同時に、こういうモノをつくってくれてありがとう、こういうサービスを生み出してくれてありがとう、という感謝の気持ちも自然と感じています。

ですから**お金もち**というのは、「ありがとう」をたくさんもらった人だ、ともいえるわけです。

1億人に愛される理由



そしていよいよ「投資」の話に入ります。

「投資」という言葉の意味をまずは説明し、前述の「ありがとうをたくさんもらえる人（会社）が儲かる」という視点から、投資を探求していきます。

「投資」とは「ありがとう」を生み出せる会社をお金で応援すること、その「投資」が大きくなればなるほど社会や経済の発展にもつながっていくことを伝えます。

そうした説明の上で、どんな会社の株主になりたい？と聞くと、こどもたちからは

「コロナのワクチンを作った会社！」

「空飛ぶ車みたいに、みんなが欲しいと思うようなものを作っている会社」

「コロナで外出できないから、家でできるようなゲームなどを作っている会社」

「僕はソニーの株主になりたい。子供も大人も楽しめるゲームとかをずっと生み出しているから」

などの答えが。

ここで、コモンズ30ファンドの投資先企業でもあるホンダのスーパーカブの動画を紹介。

人々の生活を便利にしてきたこと、その国に合った製品を生み出すことでたくさんの「ありがとう」をもらえて、結果たくさん売れたこと、などを感じ取ってもらいました。

最後、コモンズがどんな視点で企業を選んでいるのか、「5つの軸」を紹介。

それを見たこどもたちからは「長期で稼げる」という視点も大事だと気付いた、という声も挙がりました。

私たちが開催するこどもトラストセミナーは、「答え」を教えるのではなく、自分なりの視点でたくさん考えてもらえるよう、工夫しています。

今回は「投資の探求」がテーマでしたが、今後も様々な角度からお金についての自分なりの価値観を育ててもらえるようなセミナーを開催していきたいと思っています。

ぜひ、ご期待ください。

■5月26日（水）17:00～18:00

こどもトラストセミナーおかねの教室「価値と価格」

<https://www.common30.jp/seminars/detail/1179>

マーケティング部 福本 美帆



【長期投資と東京エレクトロン】

皆さん、こんにちは

先月の日経新聞朝刊の私の履歴書は、東京エレクトロン元社長の東さんが特集されていましたね。世界をリードする企業トップを経験された振り返りでもあり、多くの方が楽しみに読まれていたそうです。

私もその中の一人。個人的にもとても尊敬させていただいている経営者です。

月半ば頃、取締役会のあり方などガバナンス面の話しと株主に対する姿勢が書かれていて、特に興味深く拝読させていただきました。

まさに、株主資本主義ではなく近年の潮流であるステークホルダー資本主義を社長就任時から志向されていたことが分かります。

そして、「長くつき合える投資家と成長したい。一流の顧客から尊敬されるだけでなく、一流の投資家から信頼されてこそ世界に通用する企業だ。」とも書かれていました。

コモンズ投信は、まだまだ一流の投資家には長い道のりの途中とっていますが、当ファンドのコアとなるコモンズ30マザーファンドを設定した時から東京エレクトロンに投資をさせていただいています。今年でその期間は13年目になります。

当時、長期投資ファンドに半導体関連企業は馴染まないと市場関係者からも多く指摘されました。

パフェットさんもIT関連は投資に向かないと発言されていました。半導体関連は、いわゆるシリコンサイクル（半導体業界の景気循環）の振れ幅が大きく企業業績がそれに振らされるからです。

それでも私たちは、半導体は将来に渡って産業のコメであること、そして、その中で業績や株価の振れ幅が大きくても長期的には、毎回のボトムを切り上げていく力が東京エレクトロンにはあると判断して投資を開始しました。

その判断に至った背景のひとつには「企業文化」としてのTELバリューがあります。

丁度、そのTELバリューのエピソードも書かれていました。リーマンショック、東日本大震災などの危機を乗り越えてこられたのもこうした企業文化を大切にされてこられたからだと思います。

その結果、おかげさまでこの12年で株価だけでも17倍くらいになりました。

これぞ投資家冥利に尽きる長期投資の醍醐味であります。

これからも、こうした企業、経営者と巡り合い長期的な成長に、ファンドを保有していただく皆さまと共にご一緒していきたいと考えています。

引き続き、どうぞご期待ください。

コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくご申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	配分方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間/平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>